

西川リビング(株)法務室室長	吉兼 令晴 様
丸三綿業(株) 代表取締役社長	富澤 順 様
西川産業(株)品質管理室兼消費者室長	池田 努 様
東洋羽毛工業(株)CS推進部課長	佃 光明 様
和田哲(株) 取締役	夏目 一郎 様
蔭山(株)商品開発・品質管理担当部長	小島 祥栄 様
(一財)日本ふとん協会 常務理事	只野 悟 様
日本睡眠環境学会 会長	井川 正治 様
日本睡眠環境学会 事務局長	黒田 稔 様
(株)ロマンス小杉 主任	古田土賢一 様
京都工芸繊維大学大学院 教授	小山 恵美 様 (欠席)
武蔵野大学 名誉教授	橋本 修左 様 (欠席)
西川産業(株)日本睡眠科学研究所所長	古川 雅嗣 様 (睡眠/寝具合同委員会欠席)
(一社)日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 様

## 平成 29 年度：第 4 回睡眠環境・寝具指導士認定委員会 議事録

### 記

- 開催日時 平成 29 年 8 月 30 日 (水) 午前 10 時 30 分～12 時 寝具分科会テキスト改編会議  
午後 1 時 00 分～午後 5 時 30 分 睡眠/寝具合同委員会
- 開催場所 (一財)日本ふとん協会八重洲事務所 2F ☎03 - 3281-2714
- 議 題
  - (1) 寝具分科会 寝具編テキスト改編について第 2 回作業打合せ
  - (2) 第 5 期 睡眠編/寝具編資格教育講座&認定試験の成果と反省
  - (3) 第 2 期資格更新者用 睡眠編/寝具編論文試験の論題 について
  - (4) 第 5 期 資格認定用試験採点作業
  - (5) その他

### 議事録 議題 (1) 寝具分科会

吉兼委員長：各委員の改編作業報告を聞き、それを全体的に調整していきたい。

中村 JBA：冒頭 はじめに は社会性の強い 健康寿命の延伸 等を付記した。

赤ちゃん寝具の選び方 も 0 歳児就寝時窒息死防止策等 考慮し作成案を書いた。

吉兼委員長：各章、各ページ送りはこれでよいのか。

夏目委員：ふとんに対して深くなる「あんこよりも皮が大事」井川語録を思い起こすことだ。  
第 5 章繊維を前に持ってくるべきである。

只野委員：第 1 章ふとんの手入れ方法 は後がよいのではないのか。

奥谷委員：ふとんの歴史は昔の時代はサラッと、現在使用寝具の成り立ちを詳しくしたほうがよい。

夏目委員：年表を入れた方が理解しやすい。

吉兼委員長：ふとんの柄の歴史も、池田・小島両委員で包含して作成して頂きたい。

寝具の組み合わせは環境面とか考慮しながら記載すべきだろうか。

佃委員：寝具の組み合わせは地域性、住居構造に左右されるので一般的解釈表現でよい。

- 佃委員 : 羽毛編はアイダーダウン、水鳥の種類、リフォーム等を付加した。  
ダウンパワー表現も写真掲載する。P22 表 1-4 羽毛ふとんの使用年数による状態表記を見直す。品質基準も EQ マークないのでニューゴールド 300D p 以上等に変更する
- 富澤委員 : 羊毛の構造で細い羊毛と太い羊毛では髄構造の有無があることがわかった。テキスト記載はふとん用太い羊毛なのでそれを中心に記載していく。工程でのスチーム&ドライ加工は当社写真を掲載する。
- 古川委員 : 合繊では再生繊維であるテンセル表記をする。また、合繊糸断面 2 写真を 4 写真にして 4 穴、7 穴とか使用する。工程のカーディング、製造工程写真撮影をする。
- 夏目委員 : コンジュケートとレギュラーわたの表現も必要だ。一般捲縮と機械捲縮も記載必要だ。
- 只野委員 : 綿は綿花栽培畑の写真掲載し、オーガニックコットンを付加する。製造工程は丸三綿業にて写真撮りを実施する。
- 富澤委員 : 蚕糸業の歴史では富岡製糸場世界遺産登録とか付記したい。群馬県蚕種類のページは専門的すぎるので割愛したい。
- 中村 JBA : 蚕糸業の歴史も、ふとんの歴史の中に包含して記載するのがテキスト性にあっている。生糸価格の動向表も専門的すぎ、他繊維には表記されないので割愛すべきと思う。

吉兼委員長 : 本日は口頭説明で時間要し、池田、小島委員の概説が聞けませんでした。  
次回 9 月 26 日午前 10 時 30 分～午後 0 時まで 寝具分科会 開催を致しますが、内容討議が不足の場合、午後 1 時～の合否判定会議終了後にも討議致します

## 議題 (2) 睡眠/寝具合同委員会

- 黒田委員 : 遅刻者発生の場合、時間取り決めとして 20 分以上は入場不可としたい。
- 吉兼委員長 : 20 分以上遅刻者は入場無効とし、第 6 期受験者向け試験案内書に明記する。
- 中村 JBA : 試験時間について福岡会場で試験後に挙手にて問いました。試験時間に不足を感じた受験者は、寝具編テストでは 7 割、睡眠編では 1 割にも満たなかった。  
また、寝具編では論文解答を問題用紙升目にのみ記載者が 7 名いる。問題用紙升目に下書き用と明記してあるも、時間的不足感と問題用紙の紙質が解答用紙と同質となり、升目も同様に記載されている面もあったものと思われる。
- 夏目委員 : 様々な要因あり、今回は論文解答用紙未記載は文字数減点項目▲4 点で採点要望したい。
- 黒田委員 : 試験合否については、70 点以上合格とか、評価方法とか言わないほうがよい。認定委員会で厳正審査し、10 月 10 日発表致しますでよいと思います。
- 奥谷専務 : 東京会場では、睡眠編講座に時間不足を感じていると、神川先生も言っていた。時間的制約があるなら、まずは睡眠基礎に講座を絞った方がよいのではないか。また、井川先生と神川先生の話が重複する箇所もあった。  
昼食場所が不便であり弁当斡旋、又は休憩時間延長等を考えた方がよい。  
縦長い会場で 3 人掛け講習ではきつい。東京駅前の JBA 総会会場は確保できないか。  
寝具編講習では、ベッドライフに則した話もした方がよい。織とかタオルとかの製造工程はビデオ映像とかビジュアル化し、理解しやすく短時間化する工夫をした方がよい。
- 池田委員 : 寒がり暑がり人様々で温空調管理が大変であった。薄い上着的な衣類を持参願いたい。

中村 JBA : 第 6 期開催時期は 8 月 2～3 日、東京会場は、新会場として東京駅日本橋 TKP ルーム 217 横長 5 列仮予約済、大阪会場は夏目委員に日本綿業倶楽部を予約して頂きたい。福岡開催は予定なしとする。

吉兼委員長 : 地方会場開催希望があれば、開催要項 30 名以上の参加者等の条件を満たした場合は検討することとする。

### 議題 (3)

中村 JBA : 第 2 期生の更新時期を迎えます。論文課題内容の検討願いたい。第 1 期生 136 名の更新結果は、ポイント獲得済更新論文免除者 75 名、更新論文提出者 29 名で合格者 28 名であった。採点者の夏目委員曰く、100 点満点もあり感嘆し、参考になる提出論文もあり何かの機会に公表すればよいものがあつた、勿体無いとのこと。

黒田委員 : 業界内の資格制度でもあり、試験情報とかの共有は常に考えられることなので、また、新たな論文課題にした方がよい。

中村 JBA : 第 1 期生論文課題／寝具編 3 題、睡眠編 4 題への応募数を参考にして、9 月 20 日迄に吉兼委員長に寝具編、黒田委員に睡眠編課題を各 2 題ご提出を願いたい。

### 議題 (5)

佃委員 : 更新ポイントセミナーの開催が明確でないので日程を数年先まで決められないか。

黒田先生 : 更新ポイントセミナーとしては、学術大会、睡眠セミナー、3 月講習セミナーがある。

中村 JBA : 本年度は学術大会セミナー 9 月 14～15 日は目前である。他セミナーについては開催内容、開催時期等を毎年定期化して決めていきたい。

### 議題 (4)

吉兼委員長 : 午後 2 時より、第 5 期資格試験採点作業を 寝具編 9 名、睡眠編 3 名で 赤鉛筆にて開始する。

採点は正確性、公平性の為に 2 名での記名採点記載とする。

寝具編論文解答用紙未記載は問題用紙昇目欄の記載内容で採点するが▲4 点とする。

寝具編記述式解答は、誤字脱字不可なので ホワイトボード凡例参考に採点とする。

本日の採点結果もって 9 月 26 日 JBA 事務所での、認定委員会で合否判定をしたい。

中村 JBA : 第 5 期生 212 名採点終了 睡眠編は午後 5 時 20 分、寝具編午後 5 時 40 分であった。

以上

### [事務局後述]

採点作業の正確性、迅速化と各委員の時間的制約を考慮して マークシート方式試験での経費面を見積りでは、ソフト付読み取り機 50 万円以上、他教育機関利用のソフト付複合機スキャン読み取りは 20,000 円となっております。次回、検討致しましょう。